

川口処理分区汚水流量計更新工事

特記仕様書

第1章 総 則

1. 適応範囲

本仕様書は、川口処理分区汚水流量計更新工事に適用する。

2. 法令、条例等の適応

本工事に関係ある法令・条例等はよくこれを遵守し、必要な届出、手続等は請負人がこれを代行すると共に設備使用開始に支障のないようにする。これに要する費用は、すべて請負人の負担とする。

3. 条文の解釈

工事履歴施行上及び製作上において疑義が生じた場合は、監督員と協議によるものとする。

第2章 施工範囲

1. 概要

本仕様書は、川口処理分区汚水流量計更新工事に使用する機器の製作及び据付、配線等の施工に適用するものとし、本仕様書に定めのない事項については、一般社団法人下水道事業支援センター発行の「機械設備工事一般仕様書」、「機械設備工事必携」、「電気設備工事一般仕様書・同標準図」、「電気設備工事必携」の規定によるものとする。

2. 工事区分

- (1) 機器等（流量計本体、その他関連機器）の製作及び据付。
- (2) 流量計測用設備に関する配線
- (3) 既設機器撤去及び新設機器据付に関する全ての工事
- (4) 上記に関する試験調整等。

3. 据付工事

据付機器は、詳細な機器図及び施工図を作成し、監督員の承認を得て製作・施工すること。また、本仕様書に明記していないものでも、本設備の目的及び工事施工に当たり、必要なものは、監督員の指示により、請負人の負担で施工しなければならない。

4. 安全管理

- (1) 人孔内に立ち入る場合は、酸素欠乏、硫化水素危険作業主任者が酸素濃度及び硫化水素濃度の測定を実施し、安全を確認した後立ち入ること。
- (2) 人孔内は、酸欠、硫化水素ガス等が発生しやすいので、換気ファン、ダクトを常備し、また酸素呼吸器、命綱等必要な保護具も準備すること。
- (3) 人孔内作業時において地上部では、他の交通に支障のないように交通整理員を配置し、安全には十分注意すること。また、作業終了後は、マンホール蓋が完全に閉じている事を確認すること
- (4) 降雨が予想される際に管渠内で作業する場合は、上流での降雨等による急激な増水を考慮し、流出防止対策を施すこと。水深が腰部に達するようなときは、原則として作業してはならない。
- (5) 墜落の危険がある場所での作業には、必ず墜落制止用器具を使用しなければならない。また、必要に応じてセーフティーブロックを使用すること。

第3章 機器仕様

本工事に使用する機器は下記の仕様を満たすものとする。

1. 流量計収納盤

数 量	: 1 面
形 式	: 屋外ポール取付型（遮蔽版付）
寸 法	: W500 mm×H1400 mm×D400 mm程度 (流量変換器、データ送信機等が収納可能な大きさ)
材 質	: 鋼板製（SPHC 含む）またはステンレス製
塗 装	: ポリウレタン塗装、5Y7/1、全ツヤ 膜厚；外塗 80 μ m 内塗 60 μ m
キーNo.	: #200
取付用品	: 流量変換器取付スペース データ送信機取付スペース 遮断器 電源用避雷器 サーキットプロテクター サービスコンセント ヒータ・ファン 照明 端子台 その他必要なもの

2. 引込開閉器盤

数 量	: 1 面
形 式	: 屋外ポール取付型
寸 法	: W300 mm×H800 mm×D200 mm程度
材 質	: SUS 製（ $t=1.5$ mm）
収納機器	: 電力量計取付スペース 漏電遮断器 その他必要なもの (参考型番：SOMS-11B 同等品以上)

3. パーマボーラスフリューム式流量計（対象：川口処理分区汚水流量計）

(1) 流量変換器

- 数 量 : 1 台
- 電 源 : AC100V ※安定して電源を供給できること。
- 寸 法 : 流量計収納盤に収納可能なものとする。
- 変 換 器 : a. 変換器表示
LCD ディスプレイ
水位・流量
- b. 出力信号
アナログ信号（4～20mA）2 点、パルス信号 1 点
- 流量測定精度 : $\pm 3\%$ F. S. （パーマボーラスフリュームとの組み合わせ時）

(2) 水位センサ

- 数 量 : 1 組（専用ケーブル付き）
- 専用ケーブル長 : 40m
- 水位計測方式 : 超音波式又は圧力式
- その他 : 接続はケーブルと機器のみとし、ケーブルとケーブルの接続は不可とする。

4. データ送信機, 流量監視

数 量	: 1 台
電 源	: DC24V
入力点数	: アナログ 4 点 デジタル 4 点
構 成	: 1) ルータ 1 式 対応回線 ; LTE インターフェース ; LAN (10BASE-T、100BASE-TX) 電源 ; DC24V 2) データ通信装置 1 式 通信規格 ; IEEE802.3 通信プロトコル ; TCP/IP 電源 ; DC24V 3) アンテナ 1 式
概 要	: 本システムはインターネット接続された汎用パソコンやタブレット端末等から瞬時流量、警報履歴、トレンドグラフ等を確認する事ができ、年報・月報・日報等の帳票データをダウンロードできるシステムである。
機 能	: 帳票機能 (日報・月報・年報) リアルタイムトレンド監視 (水位・流量) リアルタイムトレンド表示 ヒストリカルトレンド表示
警報設定	: 設定により (アナログ上下限) 通報メールを送れること。
サーバー管理費	: 月額¥3,000-以内/箇所
その他	: 専用の端末を導入することなく、汎用ブラウザにより流量の確認及び日報・月報の出力が可能であること。